ISS・きぼうウィークリーニュース

平成17年6月28日発行　第154号　宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

☆最初のISS構成要素打上げから2412日経過しました
☆第11次長期滞在クルーのISS滞在は73日経過しました
☆ISS動向

第11次長期滞在クルーのセルゲイ・クリカレフとジョン・フィリップス両宇宙飛行士は、6月19日にドッキングしたプログレス補給船（18P）からの荷ほどき、酸素発生装置（エレクトロン）の故障原因究明、スペースシャトル・ディスカバリー号（STS-114）到着の準備を行いました。

18Pによって、酸素、水、食料、推進剤、衣類、新しい機器や予備品など2トン以上の物資が運ばれました。

クリカレフ宇宙飛行士は、エレクトロンを起動させるために、今回運ばれた電解水の補充とエアロゾル*フィルタを取り付けましたが、再起動できませんでした。モスクワの技術者はさらなる原因究明の評価を行っています。

プログレス（18P）から取り外したドッキングコーンを持つクリカレフ宇宙飛行士

フィリップス宇宙飛行士は、7月にディスカバリー号が運んでくる多目的補給モジュール（MPLM）がドッキングする結合機構を点検しました。ドッキング機構は2年半使われていませんでしたが、正常に作動しました。

また、与圧結合アダプタ（PMA）3を収納スペースとして使うため、4年ぶりに開けました。これは、ISSにスペースシャトルがドッキングしたときの荷物の移送作業準備のひとつです。

*エアロゾル：気体中に浮遊する液体や固体の粒子

“スペースシャトル飛行再開に向けて”

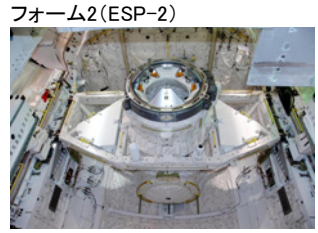
ケネディ宇宙センター（KSC）の39B射点では、ディスカバリー号（STS-114）の最終段階の準備を行っています。米国時間6月22日から推進剤（モノメチルヒドラジン、四酸化二窒素）の充填が開始され、今週中に終了する予定です。ペイロード（貨物）の搭載は同6月17日に行われ、その後インタフェース試験が行われました。今週は、ペイロードのシャープエッジ点検*が行われ、その後打上げに備えてペイロードベイ（貨物室）が閉じられます。

同6月29日,30日には、飛行準備審査会（FRR）が開催され、同6月30日には打上げ日が設定される予定です。

*シャープエッジ点検：宇宙服を傷つけるような鋭い角が無いことの確認。

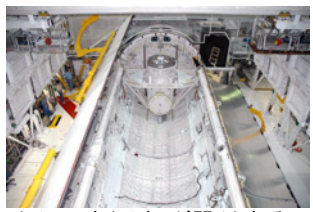
KSCのオービタ整備施設（OPF）では、アトランティス号（STS-121）の整備が続けられています。ペイロードベイは掃除され、ドアが閉じられました。また、着陸装置の機能試験が完了しました。

ディスカバリー号のペイロードベイに搭載された船外保管プラットフォーム2（ESP-2）



ディスカバリー号のペイロードベイに設置されたISSとのドッキングシステム（ODS）

アトランティス号のペイロードベイ



ペイロードベイドアが閉じられるアトランティス号

“インフォメーション”

☆「第3回航空機による学生無重力実験コンテスト」参加者募集

JAXAでは、航空機を用いた無重力*実験やデモンストレーション等のテーマを高等専門学校・大学・大学院等の学生から募集し、コンテストを行っております。

選定されたテーマについては、提案者である学生の方に実験装置を製作していただき、JAXAが提供する航空機内のスペースに実験装置を搭載し、無重力実験を実施していただきます。 ＊無重量、微小重力とも言います

■募集期間　：2005年6月14日（火）～7月29日（金）
■対象者　：高専（4年生以上）、大学、大学院に在籍する学生
■募集分野　：制限なし　■実験器材　：使用する実験器材は、応募者側で準備
■選定結果発表：2005年8月頃　■実験実施時期：2005年12月頃　■選定テーマ数　：6程度

詳細は、http://iss.sfo.jaxa.jp/education/parabolic/2005/application3rd.htmlをご覧下さい。

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構　宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
ホームページ　http://iss.sfo.jaxa.jp/　　Eメール kibo-pao@jaxa.jp
ウイークリーニュースメーリングサービス登録　http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。